

第52回 経営協議会（臨時）持ち回り・書面会議 議事要旨

日 時 平成22年12月20日（月）～12月24日（水）

議題1. 平成22年度学内変更予算（第2号）について（資料1）

議題2. 中期目標・中期計画の変更手続きについて（資料2）

その他

[出席委員] 14名

吉田学長

(理事) 前田、島、河原、阿部、盛本

(学内委員) 高松

(学外有識者) 石窪、岡積、辰村、中村、永田、林、萬田

本会議は、持ち回り（書面会議）で開催され、学外有識者においては、持ち回り（辰村委員、岡積委員、萬田委員）及び郵送による書面（石窪委員、林委員、中村委員、永田委員）により12月24日までに了承され、学長、理事、学内委員の7名においては、12月21日～12月22日に持ち回りにより了承された。これにより、経営協議会委員14名全員が了承された。

議題1. 平成22年度学内変更予算（第2号）について（資料1）

本件は、平成22年度学内変更予算を早期に成立させ、円滑な大学運営に資するためのものであり、持ち回りにおいては、財務課長から資料に基づき説明があり、また、郵送による書面会議においては、回答書により原案どおり了承され、上述のように経営協議会委員14名全員が了承された。

なお、委員から大要次のような意見があった。

- ・ 病院運営について、平成25年度以降、稼働する病床数が減少することであるが、これをチャンスと捉え、病院のマネジメントとして、しっかり取り組んでいただきたい。
- ・ 人件費について、予算措置や人事制度のあり方に問題があるのではないか。
- ・ 就職率や国家試験合格率等の結果によっては、ペナルティがあってもよいのではないか。
- ・ 組織見直しについて、各学部が有機的に連携するような総合大学のメリットを生かせる組織を構築していくべきではないか。

議題2. 中期目標・中期計画の変更手続きについて（資料2）

本件は、教育関係共同利用拠点も当該変更手続きの対象となることから、熱帯・亜熱帯水域における洋上教育のための共同利用拠点として文部科学大臣より認定を受けた水産学部附属練習船かごしま丸を別表2「共同利用・共同研究拠点」として追記するものであり、持ち回りにおいては、企画評価課長から資料に基づき説明があり、また、郵送による書面会議においては、回答書により原案どおり了承され、上述のように経営協議会委員14名全員が了承された。

その他

委員から、地球温暖化対策対応については、モニター設置、「見える化」後の取り組み、対策が重要と思われるので期待したい旨の意見があった。